

練馬区保育サービス検討会議の報告書構成（案）

（前文）

平成 30 年 3 月 22 日に貴職から、練馬区保育サービス検討会議の委員として委嘱を受け、保護者が安心して保育サービスを利用できるようにするための仕組みづくりについて、検討を進めてまいりました。検討の結果を、ここに報告いたします。

検討会議の報告事項を踏まえ、仕組みがつくられ、練馬区の保育サービスが更なる充実を図られることを望みます。

（本文）

1 会議の設置目的および検討内容について

- (1) 会議の設置目的
- (2) 検討内容

2 検討の経過

3 検討内容別の仕組みづくりの方向性

- (1) 保育サービスの利用者の相談や意見・要望に応じる仕組みづくり
別紙とする。
- (2) 区内の認可保育事業等の運営状況を評価し「見える化」する仕組みづくり
別紙とする。

※構成（案）は別紙のとおり

4 むすびに

【練馬区保育サービス検討会議委員名簿】

【練馬区保育サービス検討会議開催経過】

＜別紙の構成（案）＞

3 検討内容別の仕組みづくりの方向性

(1) 保育サービスの利用者の相談や意見・要望に応じる仕組みづくり

【仕組みづくりの前提となる条件を整理するとともに、
利用者・保育施設等・区の3者の関係性を図で表現する】

ア 利用者の相談や意見・要望について園内での解決を支える仕組み

(ア) 保育事業者や保育事業者職員の保育および保護者支援のスキルアップ

(イ) 保護者と事業者の相互理解

(ウ) 保護者間のコミュニケーションアップ・情報共有

(エ) 事業者間の情報共有と学びあい

イ 利用者の相談や意見・要望について園内で解決できないことに応じる
仕組み

(ア) 保護者が、直接施設等に言いづらいことを受け止める気軽な窓口、
区の保育制度等への要望を受け止めることを専門とする窓口

◎上記の（ア）、（イ）・・・の分類ごとの構成

分類ごとに下記の3点の順で記載する（サンプル参照）

- ・ 目的
- ・ 仕組みづくりの方向性
- ・ 仕組みづくりの留意点

(2) 区内の認可保育事業等の運営状況を評価し「見える化」する仕組みづくり

ア 主に保育施設等をこれから利用する人、現在利用している人を対象と
した見える化

(ア) 保育制度全般に関すること

(イ) 各保育施設の具体的な情報に関すること

イ 見える化を支える仕組み

(ア) 見える化を支える仕組み

サンプル

(ア) 保育事業者や保育事業者職員の保育および保護者支援のスキルアップ

【目的】保育事業者や保育事業者職員の保育および保護者支援のスキルアップ
を図ることにより、保育の質の向上につなげる

＜仕組みづくりの方向性＞

- 良いことも含めた、区から事業者へのフィードバックの仕組み
（指導検査の指摘のような改善のための指導、指摘だけでなく）
- 経験値やスキル不足の現場の職員が、リアルタイムで相談できる窓口の設置
- 区が事業者のスキルアップを支援する（研修や講演会の実施など）
- 区が事業者に、メルマガやチラシ等で区内の保育施設等の良い取組や、
保育に関する最先端の情報を提供する
- 各保育施設等が個別に実施する講演会などの情報（内容や参加者の感想など）
を区が収集して保育施設等に情報提供する
- 保育施設等にスキルアップしてほしいことや期待を保護者から意見募集する
- 事業者による職員の労務管理（保育士が休暇を取得しやすい環境づくり）

（仕組みづくりの留意点）

- ・ 経験値やスキル不足の事業者職員の相談は、第一義的には施設長・リーダーなど
責任ある者に聞いて解決するものであり、緊急時や専門的で特殊な事例の場合に
限り、施設長も認めた上で、利用できるものとするのがよい
- ・ 保育施設等にスキルアップしてほしいことや期待することの意見募集は、安心し
て利用することができるようにすることが目的である。そのため、サービスのな
要素を求める意見に偏らないようにする